

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
アルプスアルパイン株式会社	常務執行役員	佐伯哲博	東京(本社) 宮城・福島(工場)	電子部品製造	https://www.alpsalpine.com/j/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2019年7月1日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先からの納入される部品輸送と弊社製品の輸送トラックを共用する等、取引先や物流会社より輸送効率の改善提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	国内外向け問わず工場からの出荷製品はパレット、カーゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A ⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から幹線輸送部分と集荷配送部分の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
4	A ⑥	集荷先や配送先の集約	トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から集荷先や配送先の集約について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。 例:工場周辺地域配送(貨物集配トラック)→関東・関西配送(幹線便トラック)
5	A ⑪	高速道路の利用	物流事業者から、高速道路の利用と料金の負担について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。 例:東北工場→京浜地区トラックは最短の高速ICを利用します。
6	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離トラック輸送に対し、トラック以外の船や鉄道の利用を検討します。輸送日数、費用負担についても見直しを行います。 例:北米向け輸出の仙台港→東京港まで内航船利用 及び 国内長距離配送の鉄道輸送利用
7	A ⑮	納品日の集約	取引先から隔日・定曜日配送化等、納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じ、自らも積極的に提案します。 例:BOATでの輸出は各仕向に合わせ週1回の配送日を設定。工場倉庫でコンテナ積みを行い京浜地区へ輸送
8	F ①	独自の取組	製品包装の収納率を10%向上させ、トラックへの収納数を増やし、輸送物量を減らしていきます。

PR欄